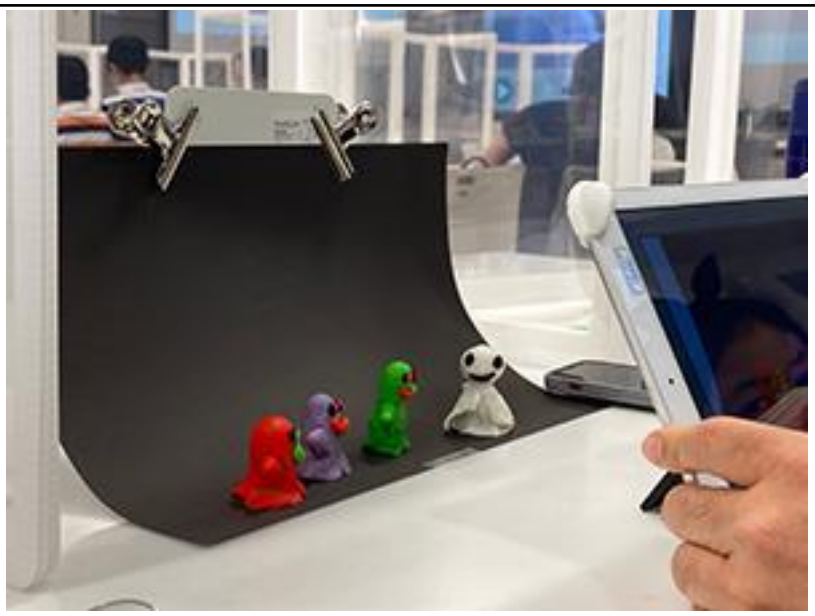
プログラム実施報告

イベント名	エデュテイメント大学
プログラム名	クレイアニメをつくろう！
実施日時	西暦 2021 年 10 月 24 日（ 日 ） 10:30～ 14:00～ 各90分
担当者名	やたみほ
会場	3005教室
対象	小学1年生～小学6年生
参加者	17組（保護者 24 名、子ども24 名）（申込者55名）
学生スタッフ	5名
当日の様子	富士山が眺望できるほどの秋晴れ。本来なら白百合祭で賑わっていたはずでしたが、残念ながら今年は静かなキャンパス内での開催となりました。 3号館地下の「多目的演習室」は広いテーブルが12台並んでいます。当初各回6組定員としましたが、こちらの教室を使用できることになったため、各回10組に増やすことにしました。それでもご応募いただいた半分近くの方にお断りすることになり、大変申し訳なく思っております。 「クレイアニメ」は手描きのアニメーションの原理（ぱらぱらマンガと同じ仕組み）とは違い、物を少しずつ動かしてシャッターを押しながら作ります。「ストップモーションアニメーション」（コマ撮りアニメ）と呼ばれ、児童文化学科の授業「アニメーション制作B」で扱っており、今回5人の履修生が補助に入ってくれました。 ＜道具＞ ・iPad（大学の機器）とスタンド ・ブックエンドとクリップ（背景の紙をセットするため） ・お米の粘土（9色の中から好きな粘土を4色選ぶ） ・背景用の色画用紙 ＜使用アプリ＞ ・KOMAKOMA (コマ撮り用) ・iMovie（編集用） 参加者の方々にはまず「普段どのようなアニメーションを見ていますか？」という質問から入り、ジブリ映画や「ドラえもん」といった手描きのものと「ひつじのショーン」がどのように違うか考えてもらいました。 次に、本番前のトレーニング。iPadをセットしたら2色の粘土でそれぞれボールを作り、両

	脇に離して置きます。2つのボールが出合うまで「KOMAKOMA」でコマ撮りし、出合った2色の粘土を好きなように混ぜたりつぶしたり、延ばしたりします。 　コマ撮りのコツがつかめたところで、好きなキャラクターを作って動かします。色とりどりのユニークな粘土人形がにょろにょろ、くねくね。みなさん夢中になってシャッターを押していました。



動画撮影が終わったら「iMovie」でBGMや効果音、タイトルをつけて完成。
動画はAirDropで私のiPadにまとめ、最後にみなさんの作品を鑑賞しました。

学生たちには、アプリの使い方や動画の送り方のサポートをしてもらいました。
また、実際にコマ撮りしている様子をモニターで映しながら制作風景が伝わるようにしました。

iPhoneをお持ちの方はそのまま各自のスマホに送って持ち帰って頂き、Androidをご使用の方にはメールで動画をお送りしました。

アンケートには「子どもの意欲が刺激されました」「クリエイティブな時間を持てるのは子どもにとってすごくよいと思いました。」「家で続きを作ります」といった声が寄せられました。

ストップモーションアニメは自宅でもスマホを使って簡単に作ることができます。これを機会に色々なものを動かして「アニメーション＝命のないものに命をふきこむ」の楽しさを味わって頂けると幸いです。